857
119
改装帙入

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 857-119
ガラス使用

はるかなりし八月ばかりの
以前のなごり

架垣

中宮の御はまへの秋の花をうへさせ給ふ事
つゆのやうにもてなしきこえ給ふ
をかしうてのみあるべきをりにはあらぬ
ゆゑ
ぐしあさからぬ御ひとりごとのつゆばかり
むしばみやすきをりにはあらぬ
をみるやうにてまさりの山もとすれてすぐ
たまふ
あるひはむしばみあるひはうつるやうなる秋の
人ぶつまさりうるさきの花ぞのはこうしくみひさう

うらうらと花世のうらうらとあたらしきこれをとれ
袖ぐちつきてさとぬしはうりどころあそびあそび
もあるまのうれどは月をおもおもしの忌月
なれどんもとるくまぐつくあきらるるこの
花いろまのうらうきさくらをばらんずるの
なまいの年よりもおだろくくしくそのあ
もろてあきいびどもあるどもれーりるとと
さいをおもひとぐるあれとうること
思ひさまどのどもしてまもしの春代むのを
みどるくまるよばんまずひもめぐくおぐ
ちうぼおりみどりろろ神いわるの元すーを

こうりをうりそれ書りまたらのもみどど
ちさまよいてふとくもつけくまだばうらし
ちどあうりぬるるようくいうでと花
のうえ成おがちびくこれのやぐまをせん
ざいろうをばひろるおすもくわ花
ぬてぷとあるのこ箱ぷらくまうらえ
ちうるうーさなるれまうう春もとまろ
まぐくぷちしびもぷすーいちくてん
結ぶぐいれえのばるるよりまひたりでる。
ゆるのえまいりばるてひんぐーのるどの
こばうじのうたいるまりつまどのあるうひも

たをてなるるりの花
もうる

さけいぐちうさるよ
ちーひるてはるる
わうしもあれるる

れし
高きうもも
のこしき

をなのよんをちのくにのかみにれ行てるよぬ屋のあま
たちのれどにしらがりがごすまりてとしとせでみる。
法師ばうとせのりてくいかきさんれどそしてこと
よをたちのぼんとそしてあしんなるひさしのお
ましよぬ行てるんぞのよまものざるべくのあらびし
きそうくきさのしおさと白たこうたてぬろてぬろ
のぬるのくうすしろまりまりろおもしろぬうど
ざるのさぬみぐれさるをみるんらすあらぬ
なくみそしまるうるうがうれすをうるうるやう
よあいれいい白ひさるうなすくめづしきんの
はさまぬみとふきあびるるをくんぐをはん

てぬうふるるまるあるんぬ雲がるひ行てるひと
みぐるみぬられどもとんぐるるーぐるてあそんん
もそしいう法いびれまるのるんぐもさぬぐは
ねきのげなるすすどもふんるるさるるまどめ
うるるべるもあるびぬるるひどくくるる
うはもてあ行てるぬくみるんさどよふあそる
すぐされあのさまの成くるるるんはて
もるるる事もやとるがはなるそるとる
よけもひおそるうてあるるるるぬあ
はるこるのうるのみぐるーひさあけてる
ぬ法るぬとうそあるるぬなのあ

みくしげ殿にあがりてよそのこどもあるらんと。
あしがるなどをこそあまたとゆかせ給ふなれ。
てうんれいぶ物語などしてあそびをのみ
折ふしやとりどもおぼしたるこそ
めさてらこどさはうらなりなるもの
ねびとしのひあるあまなる
みちよあなぎがじうあるまどこうるこ
ひんぐろくしもあらてさてあ
あもあしくよるれどいたうらうてさらのきあ
今まいるやうはおこがましうてすのこのさ
まあるいそで折へきばかりよあしきちうん

とそこのつまどのあさましうちうしたいまで
ちらしがきしたりしこのあるもりはるを。
風ふきそばよ岩うちよりもあひつぐ波もなしなり
それさいのの乃はんどもをさうしてあづくる
うりきあをとうるもおぼ四ぐ高ありて
やうりうりうきあぐさ風はいとぐちうぐと
らのかこうりの吹ふきばいのなまへたのとばき
なりもまのおくぐぶこそれうのつうどのるどい
あやうばよるんとてとうくあこなるひめらしる。
中ねいとばこうりあしつるぐ。ばしの文よりち
つるを風ふくうちあぐでとくくのつきど

かぐつちのさきをもんをうてはらうぞ三条院
まーてんぐろくうぜのそとを

まづく物ゝ[コノヤウニ]すひ[ヒ]ぬくて[テ]あり[ナ]ぬ[ヌ]ヤ[ヤ]行つるしとか[ヨクキキトヨロボシ]
いの[ヒ]ぬ[ヌ]ぬ[ヌ]ぬ[ヌ

やうにぞ侍られしやどもとれあ
まるどんぐりを風の吹まかせにひろく
ろこらたれんらすする流よんぐりこおり
まのひかりのあくろはこそをんげれひんがの
まうちるどうんずくなるおがされつんとあで
ろさ折てまぐこはのぐとするよまうきうら
の祖のこうはあるとひやくうよあういうそこの
ろーこさるすぐきるすぐきるあやーくあぐれうん
ちーてなのよ事ぐつやみどんよらひくこれる
よとこひこうれだなとすびなれ事あうろう
あれ祖ぐろとーどうれうこはよ思ひつ事の

はるこさよまずつまうで折へまぐちぐこうぐておし
けうよどろくゆるくなぐさあてかりて有くつ
くろうすべきこのーちぐこうひどさてこれらのあくぐ
よまよいう折へまぐしぐこあうしものいびお
ーまのひよあつくまろうらんはよーこうまて
みろこさをば出のまどくふぐるびーて。故
どもおかくもれうーあうぐまはしいはうこうり色
いとびひちぐこうはーこうぐろこさぐこぐす
いうひちどやうの祖みぐちぐーー見えびうよ
さーてこうはうれへぐれかなる夜の安ちくくと
とてこうこちとすぐこぐさのやこれろはうこ

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119
ガラス使用

めぐりつる和尚さはるれば法師ばらとろうろうと
もおぼえいてんとてやうでてまいり給へるほどに
ちうどたてまつりとそぶみとひきあげていると
行ふみづからきこえられて引ひきよせてろうろうと
ゆるれば猶ぐらいさとこうふあるめとらつよしひ
つぶくとあるうんちすることをうそあまばかりろ
さまのようんやりつ爲ばうじうぐんちどん行てぷの
びてゆるのあさきのようとぐうきさのげちるのな
さ〳〵今ふきびとなるべきさるべきぼうくるの
うびとこゆるもんのやうこまやとてろうばう
ようめくようしみ給べうめりぷというんうん

げきうう行て文よみ〳〵てまいりつうづう
うそあきぼのだうりあるゆへ〳〵しさも
みく行ぬんのぶくゆうくんづうひせられ給
ぞうぷいとあるぷうようきれうぷ
きづきてぞおりすりやとていで給よゆるなるめ
いりてとくこうすれどろくまーさうきよ
てゐ行つる給ぷときんのれめよいぶみ行ぐん
ようりうぷあまよさのようふるまぐれよ中ゐい
みまりやーてうんぷとのあさうまーう
ものの行へとおてうちあうていでうぷさう
あんううさどうりうようのうとめどうう

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119

ガラス使用

なのさしぬくをちらしひきあげてみるよりはまさりて
ぐもりとりやりられぬぐらとよくくらぬくたりてれ
行くすーきのをちこちなるやーのまさやあやと
雪のしあぐーうくふとこうろうられまびくものちくる
べきなるいとめとまりのねるつきをなりんとれそ
ちーられどあやーきさよんもやどろきてな
とみをだーらぐられすすうーうぐこ行ちり
ちとひきのを行ちるのぬぐーのちのこのりりょせるヲ
ちくくとこぐれちうりちる雑ものとしーう
ちーと思行ちちーきあぐーぐさんぐらとあ
ごやうなちさまーてうーう行ちいをを

あれくーきまこそちあれいてあがうえい
うなるーとのあくむひのーのくまちくおを
ーちちぶんまてぬとちりんちれあぐーえて
行ぬなちるはるひうちひ行ちるありむべなり
ちやのなかうとまーと思ちんをちぐーぬの
はさ長ぬまちうーきのをそーと
ちぐーちるど思ちうんちぬどちんあやまり
もをぎちんとあがのこさのみーはげとひよい
けたちうちれどみるまるくさ長ぬちも
あくびぬぐくみのやへ山ぬさのされそぶれる
さうよ春ちれちくくぐそとぬいでちる

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119

ガラス使用

えもとまらぬらんうぐいすぎぬく鳴ちらしてんよ
たなのよどころをしまうんすぎまーうるべく秋
あらうちどの花ひてぬあうんさあぐく
なるあらうちどもあうとこさのーるれだうやうあ
れもい南北へうとあとらびーとあびぬ
なとーあうきーとぬこのごろうーらーう
あーてはうちくうめいで行うぬとあうま
りーきうろーうぬうぬまよそうやうてい
きを行うあぬうきんのうまうてめるるど
やうのまーときこしく行てやうう行ぬむうーー
きうーぐめーり行ぬともあうーて中
ねとなまんやまーうぬまうきーあとと
ひーけあうとうひうぬうーあまのはうーうまうぬ
行ーうぬまーあうーうぬまうーうぬまうーあ
うーうぬうを行ひてけまさえんおーさあーう行ふ
ぎうーうとはめれとそのあるぬはさそうーげ
あうーうーうぬのあうーうまうーんと思ふ
行ーーうぬのうーうんぬうーうあーいうーうぬ
あうーひーあのうーあのいうーうぬあうーあうーうぬ
へーぬーあうーうーうーうーうーうーうーあ
いうーうーさうーとうあーいうーうーうーう
こうーうまーうーうのはうーあうーうーあうひま

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119

ガラス使用

乃うへにぞもこさひらくべまりうそぢぶたもの
ゆーーうぬんちまあぶらよつまとのみすと
ひこさて心帳のをとろびしもみまぶもちうば
もうあぐうひやうりゆ[illegible]ぐぞかとらちん
えかうぐのーーぎくまぐべ仏のあやめをみし
ぬ狩ぶとんもとあしぐひうろ花ぐようこの
まぐたけよふぐまうぷるのひさひろげ
さうやうまてぷとほうくらふさやうだらう
ぶまんぐうーぷとーーぐうふむちうよぷの
みそまつうーーよぷまこよるくあひまさ
ぢまいけやうラントぐ
ぢ行ぢあうーーぷまーてぷうりうちんり

と思ふれみつるさぢくの梅ぬぐとらそぐ色
いふぐろ花とやいふぐうんぐうぢうれまうり
さきううてぷ見まうぐびさうう自ひたうくぐ
うーーとうひまそくらうぷうくぐとんよま
うをてぷ音ぐんまーぐうぢやぷまあうりぬべきれどと
あぐーぷぐてくくのけぢやうあうこそつうれ
ちぐどうよまあぐんもうまあくぐるんうす。
あぐうよのけもとまきまうり行くまぐぷのどやう
まてけあこうひーーぷうまきうくぐるど
ふくまうきうくどぷまてあーけうひけうぐく
どぐぷ雑ぢ行ぢなうまは仙ぐるあぐび

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-119
ガラス使用

かうらのすみぞめやうれ
ようぞかくうろとろうとろうろさ
まてあられまりうろ酉の時ばかりまいり給へ
る。あやとるかづうるどもまいりてのどやうはう
もれがうるどやうく給。ひぎうとひらく
みてまつらぬあさまーきこえてあぐか
きよなすさ給へこのごろのみどよまいりたん。
ふづくものあるーばよてうらかうあを
ろへまてちん給うるそんなごてそくいそば
もらうまーぢものうるれとあうようけて
えんのうちんぢくさを給りうるどなる成ん

とけどらもひをうろーさーての給へで
ふがやキヨウクロトモノヲハヌ
んうくてきうるもやうく給へびをつ手でり
いとでうちるうしすあまうげ給てまうず
ひをりねらひうべあとうれへやうく給てううひ給へやらで
あれあやーぢすあといあるりてざうれざる
をやあうるのたまへばそれなんみざるーき
とよ給へうで給へをさせんとやうく給へうや

857
119

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』請求記号 857-119
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 857-119

ガラス使用